

番号	20	平成27年度公共事業事後評価調書			担当課名[農地保全課]		
事業名	中山間地域総合整備事業（広域連携型）			事業主体	静岡県		
箇所名	あしがら 足柄			市町名	小山町、御殿場市		
事業概要							
受益面積	67.5ha	採択年度	平成9年度	完了年度	当初 実績	平成15年度 平成21年度	
事業費	前回	2,921百万円（H19再評価時）	実績	3,023百万円			
事業量	農業用排水 延長4,601m、農道整備 延長2,600m、ほ場整備 面積37.1ha、 農業集落道 延長986m、農村公園（2箇所）面積19,876㎡、 活性化施設（1箇所）面積405㎡、鳥獣害防止柵 延長9,800m						
事業の目的・必要性							
本地区は、静岡県北東部の富士山麓に位置し、標高400m程度の中山間地域である。稲作中心の営農が行われているが、急傾斜地が多く小区画不整形で機械導入が困難な状況にある。このため、農業生産基盤整備を行うと共に、都市との交流拠点となる活性化施設・農村公園等の生活環境基盤を整備し、関連組織が有機的に連携を図りながら、農業生産性の向上や交流人口の増大を図る。							
事業の効果等							
費用対効果 分析結果	前回 再評価時 (H19)	B/C	総費用	29.20 億円 (事業費：29.20 億円)	総便益	35.20 億円 (農業生産向上効果：8.70 億円 農業経営向上効果：11.00 億円 生産基盤保全効果：0.50 億円 生活環境整備効果：15.00 億円)	基準年 平成19年
	事後	B/C	総費用	37.10 億円 (事業費：33.40 億円 再整備費等：3.70 億円)	総便益	43.10 億円 (食料安定供給確保効果：21.60 億円 農村振興効果：17.10 億円 多面的機能発揮効果：4.40 億円)	基準年 平成26年
1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 ・土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの改正による評価期間、便益等分析手法の変更に伴い、総費用、総便益が増加。							
2) 事業効果の発現状況 ＜食料の安定供給の確保に関する効果＞ ・ほ場整備や農道及び用排水路の整備により作業効率が向上し営農時間が大幅に短縮した。 ※営農経費節減効果：（労働時間）1haあたりの年間農作業時間 564時間/ha ⇒ 149時間/ha							
＜農村の振興に関する効果＞ ・農道や集落道を整備することにより、一般交通の走行にかかる時間が短縮され人件費や車両経費が節減された。 ※一般交通経費節減効果：（走行時間）1/2に短縮 ・農村公園の整備により、災害時における応急対策施設が確保され、地域住民に安心感を与えられるようになった。 ※災害時の避難地確保効果：（避難可能人数）6,364人							
＜多面的機能の発揮に関する効果＞ ・活性化施設の整備により、地域の産物の加工ができるようになり、隣接する道の駅等で付加価値をつけて販売することができるようになった。 ※付加価値向上効果：（収入）ふじあざみ売上【H18】9,532千円⇒【H25】24,900千円 ・農村公園の整備により、都市と農村の交流人口が増加し、併せて地産特産物のPRができるようになった。 ※足柄ふれあい公園利用者数：【目標】3,850人/年⇒【H22-25平均】10,433人/年							
事業により整備された施設の管理状況							
(1) 排水路、農道、活性化施設、農村公園 ・施設管理者である小山町及び御殿場市が、年2回程度の草刈りを実施するなど、適切に管理が行われている。							
(2) 農業用水施設、ほ場 ・関係地権者を中心とした地域住民が、草刈り等の日常管理を行うなど、適切に管理が行われている。							

事業実施による環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・基盤整備をきっかけとして、地域の農業者で組織する「合同会社金太郎」が設立され、稲作の作業受委託等を請け負うようになった。・首都圏からの子供たちに農業体験の場を提供するなどの積極的な活動が評価され、所領地区が「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録された。
社会経済情勢等の変化
(1) 地域社会の動向 <ul style="list-style-type: none">・平成32年度に供用開始予定の「小山スマートIC（仮称）」により、地域と都市を結ぶ新たな拠点がさらに増え、農産物の販売や都市農村交流の拡大が期待される。
(2) 地域経済の動向 <ul style="list-style-type: none">・本地域で生産が盛んなブランド米『ごてんばコシヒカリ』は、近年の品評会『美味しいお米コンテスト』において7回知事賞を受賞したことなどにより、農業者の生産意欲は益々向上している。
対応方針（案）
(1) 評価結果 事業効果は十分に発現しており改善措置の必要はない。 <ul style="list-style-type: none">・事業を契機に農業生産活動を中心とした合同会社が地元の農家で組織され、生産性の向上が図られるとともに、農業体験などの地域活動も盛んに行われている。・魅力ある農山村として「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されるなど、地域活性化に向けた持続的な活動が期待できる。
(2) 今後の課題等 <ul style="list-style-type: none">・引き続き、都市農村交流等による地域の活性化を図るため、「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」等のソフト施策による支援を必要とする。
(3) 同種事業への反映等 事業完了後、地域に新たな取組みが生まれ、活性化に繋がる等の多様な効果を発現したことから、本地区の取組みを他の中山間地域へも反映させていく必要がある。

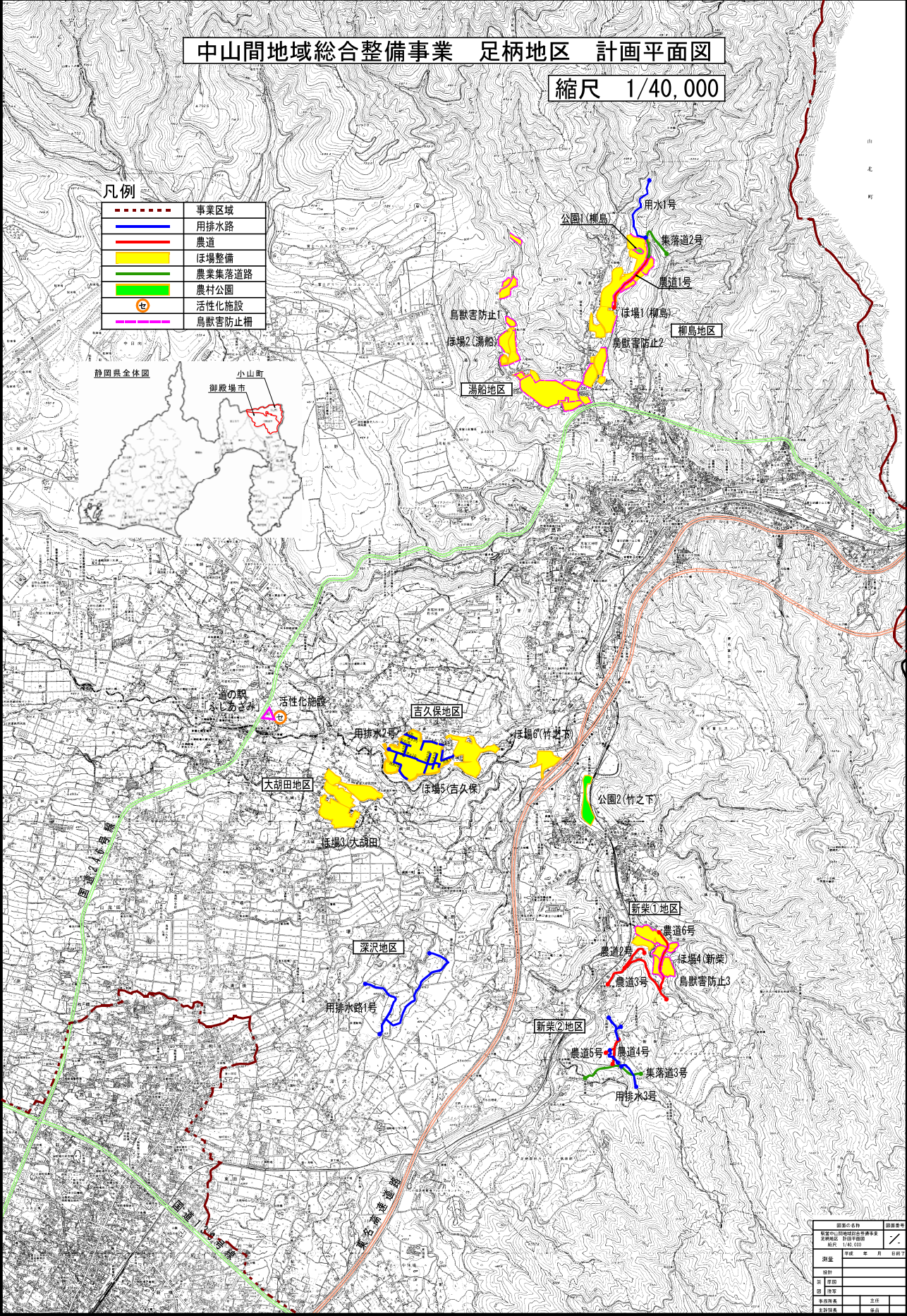
中山間地域総合整備事業 足柄地区 計画平面図

縮尺 1/40,000

凡例

- - - - - 事業区域
- 用排水路
- 農道
- ほ場整備
- 農業集落道路
- 農村公園
- セ 活性化施設
- 鳥獣害防止柵

静岡県全体図



図書の名称		図書の番号
静岡県中山間地域総合整備事業		
足柄地区 計画平面図		
縮尺 1/40,000		
別冊	年度	頁数
設計		
監		
校		
検		
事務課長	主任	
事務課長	主任	

中山間総合整備事業(広域連携型)足柄地区 事業効果

●事業効果の発現状況

食料の安定供給の確保に関する効果

< ほ場整備 >



事業実施前



平坦で広い区画

草刈りや田植え等の農作業が短時間でできるようになりました。

1haあたりの年間農作業時間 564時間/ha

⇒ 149時間/ha

事業実施後

農村の振興に関する効果

< 農道、集落道整備 >

道路整備により、一般交通の走行にかかる時間が短縮され人件費や車両経費が節減された。

走行時間1/2に短縮



< 農村公園 >



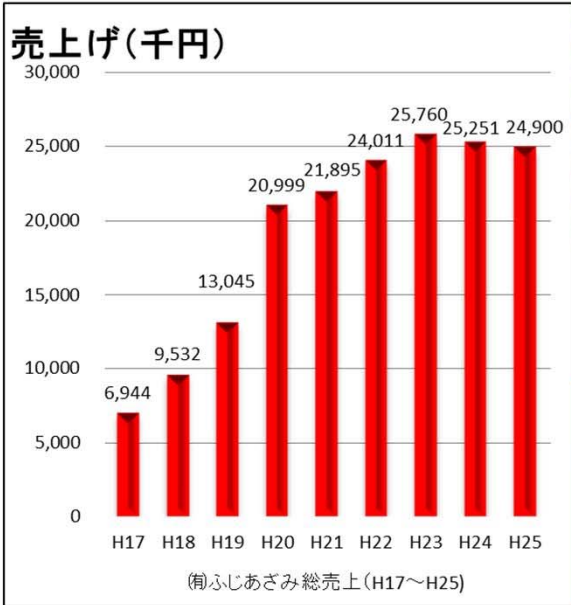
避難可能人数 6,364人

農村公園の整備により、災害時における応急対策施設が確保され、地域住民に安心感を与えられるようになりました。

●事業効果の発現状況

多面的機能の発揮に関する効果

< 活性化施設 >



売上げが増大

< 農村公園 >



足柄ふれあい広場」利用状況(人/年)



地域の特産品等をPR

都市と農村の交流人口が増加

●事業実施による環境の変化

事業の波及効果

さらなる生産性向上に向けた取組

地域の農業者で組織する「合同会社金太郎」が、基盤整備をきっかけとして、本地域内で稲作の作業受委託を請負うようになった。



平成22年に設立
さまざまな活動を展開している

美しく品格のある邑への登録

農業体験として首都圏の子供たちを受け入れるなどの活動が評価され、「美しく品格のある邑(むら)」に登録された。



ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

●社会経済情勢等の変化

地域社会の動向

地域と都市を結ぶ新たな拠点

平成32年度供用開始予定
小山スマートIC(仮称)



地域経済の動向

主要農産物ブランドの確立

ごてんばコシヒカリ



美味しいお米コンテスト
知事賞 7回受賞